

# 防雪防風柵用基礎 コンクリートブロック

日本高圧  
コンクリート(株)  
との共同開発  
製品です。

NETIS登録技術  
HK-190013-A

安定した品質と施工性・作業性の向上で工期短縮を可能とするセミプレキャスト基礎ブロック。

## 【H26 年度施工事例】一般国道 275 号線（北海道）



本製品は、従来の現場打ち工に対し基礎をセミプレキャスト化したアンカーボルトが埋設された工場製品です。従来行われていた型枠工を不要とし、更にアンカーボルトの微妙なセッティングも不要であることから、工期短縮に大きく寄与できます。構造は、ブロック内部の上部が表面に螺旋状に凹みが施された円筒孔形状で下部が勾配をもつ台形状の空間となっており、所定の位置に配置されたアンカーボルトのU字部分が台形状の空間に突出しています。ブロックを所定の基礎杭の位置に設置後、円筒孔部より充填されたコンクリートは突出したアンカーボルトと基礎杭を内部の同一空間内で硬化し一体化することで、柵に作用する荷重を効率良く基礎杭に伝えることが可能となります。



上部円筒部



台形状空間内部



位置確認用目地

### 特長と効果

- 工場製品であるため、強度や寸法精度など安定した品質を確保します。
- 現場における型枠組立の必要がなく、型枠資材および廃材の発生がありません。
- アンカーボルトが製品に埋設されている構造であるため、従来の型枠工におけるアンカーボルトの設置や溶接などの固定作業が不要となります。
- 施工専用吊具(カップラー)およびスパン確認金具などにより、高い精度と迅速かつ安全な施工を可能とします。
- 従来の現場打ち工に比べ、省力化施工が可能であり大幅な工期短縮になります。
- 冬期施工における品質への外的要因の影響と現場管理の軽減を可能とします。
- 基礎杭は、鋼管杭・H鋼杭・PHC杭での対応を可能とします。

SA/2016.12-26